

魅力的なまちへ 大学生らが提案

【中】 県内で建築などを学ぶ大学生らが集まり、地域のまちづくりに関する調査結果や提案を発表し、互いに意見を交わす「横浜まちづくり学生会議」が5日、横浜市開港記念会館（中区）で開かれる。主催者は「学生たちの研究成果をぜひ聞いてほしい」と話している。

会議では、神奈川大や東京都大、東海大、横浜国立大など5大学の学生が指導教諭の下で進めてきた研究成果を発表。横浜の海岸通

りの再生策、関内地区のまちづくりの方向性、港北ニュータウン地区の子育て世帯の実態調査、鎌倉市本庁舎整備への提案などを取り上げる。発表後は「地域アイデンティティとは」と題して自由討論などを行う。

同会議は、次世代のまちづくりの人材を育てていくと2015年から始まった。3回目の今回は学生が主体的に企画し、当日の司会進行なども行う。都市プランナーや1級建築士らでつくる「まちテラス」が中心となり活動を支えてきた。午前10時～午後5時。参加無料で申し込み不要。定

員は約110人。問い合わせは、学生会議事務局 ☎ 045 (323) 9257。